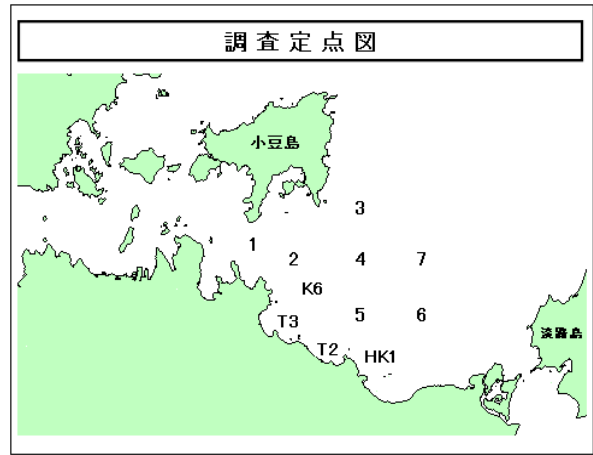


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2014. 6-1号)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 2014年6月3日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

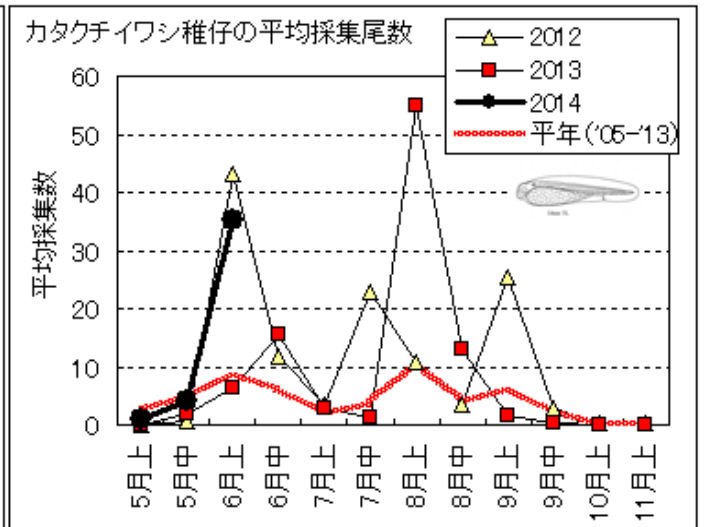
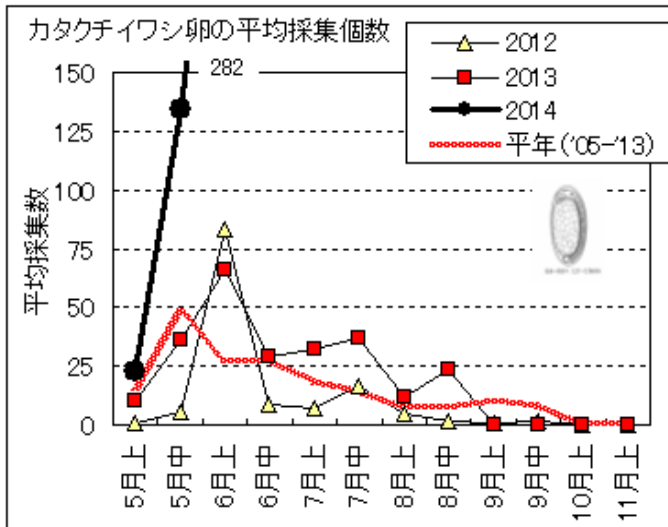


【カタクチ卵】 定点別出現数

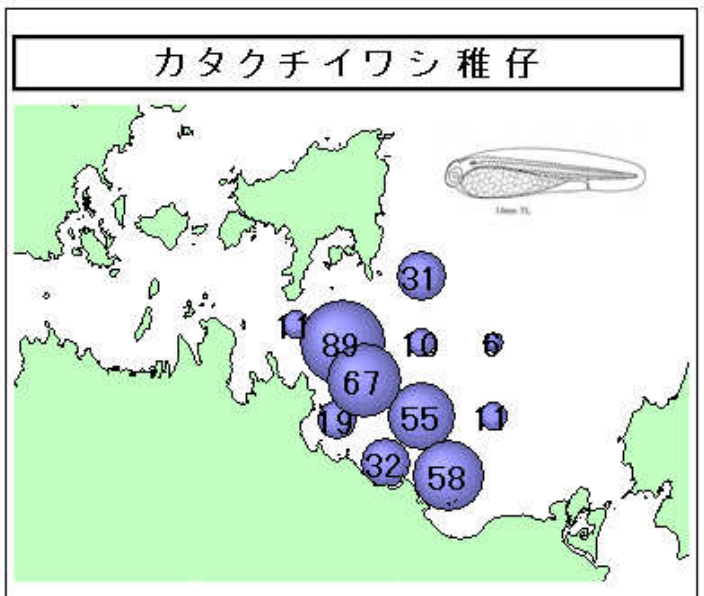
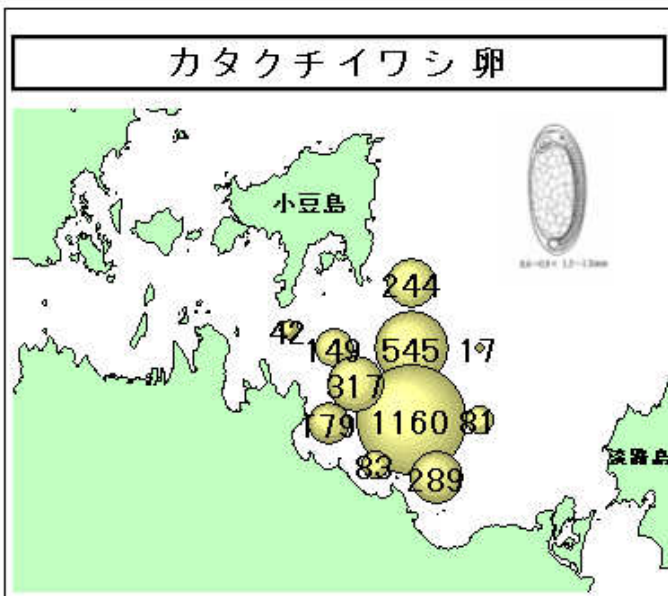
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.6.4	34	237	109	116	62	206	24	55	9	1	67	83.6
2013.6.3	0	10	78	89	174	258	35	24	54	5	2	66.3
2014.6.3	42	149	244	545	1,160	81	17	289	83	179	317	282.4

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.6.4	39	137	78	46	21	19	16	71	2	2	44	43.2
2013.6.3	0	6	2	1	16	38	2	1	3	0	0	6.3
2014.6.3	11	89	31	10	55	11	6	58	32	19	67	35.4



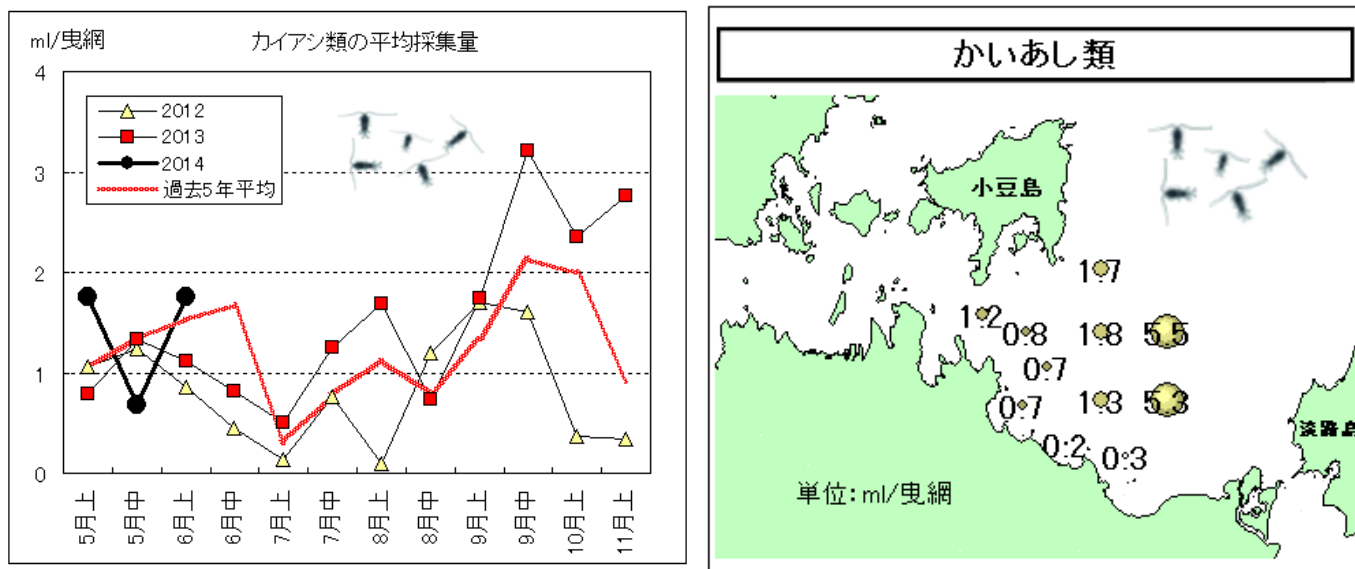
* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は282個で、多かった前回をさらに上回り、2005年以降で最も多い採集数となりました。また、稚仔についても、平均出現数が35尾となり、前年および平年の同時期を大きく上回りました。卵は白鳥沖を中心に、稚仔は播磨灘の南西側(香川県寄り)に広範囲に分布していました。

餌料生物として重要なカイアシ類は、播磨灘の沖合で多く出現しましたが、仔魚の餌となりにくい大型種が主体でした。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は6月17日に実施予定です。